

<News>

結婚式を通じて復興を支援

クレ・ドゥ・レーブ 家族で過ごす素晴らしさを伝える

クレ・ドゥ・レーブ(本社:神戸市中央区)は来年1月、阪神淡路大震災の復興応援企画として、【25歳の結婚式】を開催する。運営する式場・北野クラブソラ、ホテル北野クラブ、THE SORAKUEN、の3店舗において、合計3組のカップルに挙式

をプレゼントする。神戸・北野に位置する同社は、今年で設立16年。多くのスタッフは震災を経験しながらも、企業として直接支援活動を行う機会はなかった。一方で、震災後に産まれたカップルが結婚という新しいステージを迎える中

で、ブライダル企業としてできる支援を考えるように。震災から25年の今、物質的なサポートではなく新郎新婦とその成長を支えてきた家族に対する支援を考え、震災の年に産まれたカップルを対象とした挙式プレゼント企画に至った。



取締役営業本部長 椋木玲氏

今回で3回目の実施。初回は2組、2回目は3組の挙式をプロデュースした。来年の開催に先駆け、10月15日までカップルを募集。応募資格は1995年1月17日~96年3月31日(震災発生の年)に、新郎新婦のどちらかが神戸で誕生したカップル。発表は10月31日を予定している。

「神戸新聞にも取り上げられ、継続開催してきたからこそ実績にも繋がってきました。過去に式を挙げたカップルからは、『震災を改めて考える機会になった。家族と一緒にいる素晴らしさを感じられた』との声があがっています。未曾有の震災の中産まれてきた命。本企画を通じて、誕生した喜びや家族の絆を再確認してもらえれば。」(取締役営業本部長・椋木玲氏)



▲実施は来年1月(写真は前回式を挙げたカップル)

ザ・プリンスギャラリー 東京紀尾井町



総支配人 芝田尚子氏

昌志氏の就任を発表した。1996年ホリデイ・イン京都に入社した同氏は、副総支配人、総支配人を歴任。ロワジュールホテル&スパタワー那覇など国内のホテルで総支配人を経験してきた。

第一ホテル東京シーフォート

第一ホテル東京シーフォート(東京都品川区)は9月26日、夜限定で実施するウェディング【Night view CAFÉ time Wedding】の販売を開始した。平日夜間の稼働率アップを視野に入れ、年間10件の受注を目指していく。

会場は28階の『トップ・オブ・ザ・ベイ』。セレモニーは会場内で行う。このプランは20代のウェディングプランナーがミレニアル世代をターゲットに商品化した。夜に開催することで、ホテルから見える夕日や夜景も売りになる。平日は18時、土日は16時からパーティの実施を案内していく。



▲年間10件の受注する

特徴は名称の通り、コース料理後、バリスタが淹れたラテを提供すること。ラテアートを楽しむ時間を設け、新郎新婦とゲストとの距離感を縮める。

「『アルコールを飲む人が少ないのでソフトドリンクを増やしたい』、『カジュアルに会話を楽しむ披露宴がしたい』という新郎新婦の声も出ています。そこで食後にラテを提供し、その時間でカップルと写真を撮れるように。ゲストとのコミュニケーションを大事にしたパーティを提案していきます。ラテアートが得意なバリスタを呼ぶので顧客のイラストのオーダーも叶えます。」(営業部婚礼予約 ウェディングプランナー・池野南美氏)

価格は人前式、料理、ドリンク、音響照明、ケーキ、装花代を含め20名85万8000円から。

ラテを楽しむナイトウェディング 若手プランナーが考案したプラン



▲バリスタを呼んでラテを振る舞う